vol.110
2023 年 5 月

ばら

福山市民病院広報誌

Fukuyama City Hospital

日本医療機能評価機構
認定第JC1055号

特集

- 2023 年度新体制
- 新任のあいさつ
- 新任医師・初期臨床研修医紹介
- 看護部新体制
- 泌尿器科の医療連携に関する取り組みを紹介します

福山市民病院理念

質の高い安全な医療を通じて「安心と生きる力とやすらぎ」を
地域に提供するとともにこころ豊かな医療人を育成する

地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター
肝疾患診療連携拠点病院
災害拠点病院
臨床研修病院
緩和ケア病棟承認施設
第二種感染症指定医療機関
DPC 特定病院群
がんゲノム医療連携病院
小児救急医療拠点病院

巻頭言（かんとうげん）

コロナが5類になった時

本年5月8日より、新型コロナ感染症を感染症法第2類相当から季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げることになりました。新型コロナ感染症が日本に上陸してから3年が経過し、約3，200万人が感染し65，000人が死亡しました。現在のオミクロンBA5株が中心の第8波は徐々に感染者が減少しています。

しかし5類になったからと言って、コロナウイルスの性質が変わるわけではありません。現在米国で蔓延しているXBB．1．5株は感染力が強く、いずれ日本でも第9波が予想されます。この現状の中5類になったらどうなるのでしょうか？

そもそも2類感染症は感染力や罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性の高い感染症と定義され、感染者に対して入院措置や消毒措置が可能です。5類感染症は国が感染症発生動向調査を行い、その結果に基づき必要な情報を国民や医療関係者などに提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症と定義され、入院措置などはありません。

では5月8日以降新型コロナ感染者にとってどのような変更になるか広島県の移行案（3月末時点）を参考に見てみましょう。

1．入院

①医療機関の対応：幅広い医療機関で対応できるよう、確保病床の対象を縮小

②公費負担：一定期間（9月末？）自己負担の軽減を図るが終了の見込み

③入院調整：主に医療機関間による調整

5月31日までは県の医療調整本部による調整

6月1日から9月末までは県の医療調整本部で相談対応

以降は調整終了

2．外来

①医療機関の対応：コロナ対応可能な医療機関の維持、拡大を図る

※（案として）医師などの応招義務について、新型コロナウイルス感染症に罹患又はその疑いのみを理由とした診療の拒否は「正当な事由」に該当しない取り扱いとなり、基本的にはどの診療所でも検査・診断・治療が行われるべき。救急においても基本的にはどの救急対応病院でも受け入れが行われるべき。（コロナ輪番の廃止）

②公費負担：検査費用・その他外来医療費は公費負担終了の見込み

コロナ治療薬は公費負担を一定期間（9月末？）継続

3．有症状者、患者への支援など

①受診・相談センター：当面継続

②PCR検査・薬局等検査（無料）：終了

③陽性者登録センター：終了

④患者搬送体制の確保：終了（入院搬送については継続の可能性あり）

4．自宅療養

①健康観察（症状把握等など）：終了

②電話・オンライン診療（オンライン診療センター）：オンライン診療センターは終了（地域の医療機関、薬局での対応に移行）

③自宅療養者相談センター：SMS送信は終了、療養証明書発行は6月末を目途に終了。電話相談対応は当面継続

④自宅療養支援物資の配送：終了

⑤未就学児も含む児童・生徒の出席停止措置：原則発症後5日間

大人には療養の目安として上記を呼びかけ

5．宿泊療養

①宿泊療養施設の確保、運営：終了

6．施設療養、施設支援

①クラスター対策（感染症医療支援チームの派遣）：当面継続

②往診可能医療機関登録・派遣：当面継続

③高齢者施設職員等への定期検査：当面継続

7．ワクチン

①公費負担等：公的関与は高齢者、基礎疾患を有する患者、初回接種に限定

②対象者、回数等：高齢者等は2回、それ以外は1回

5－8月：高齢者、基礎疾患を有する患者、医療・介護従事者

院長
室　雅彦

9－12月：5歳以上で2回以上接種済の者全員

8．特例措置法関係等

①新型コロナウイルス感染症広島県対策本部：終了

②県の対処方針（協力要請、イベントの開催条件）：終了

③積極ガードゴールド認証制度、コロナ対策取組宣言店、積極ガード店：終了

④新型コロナまとめサイト（県HP）：感染者数の毎日更新は終了
定点医療機関の患者数を週1回まとめて公表

⑤コロナデータサイト、感染事例等サイト（県HP）：更新終了

以上のように、今後症状のある方は、感冒や、季節性インフルエンザと同様に、一般の診療・検査医療機関を受診し、陽性であれば自宅・施設で療養することになります。症状が悪化した場合は入院をまず利用がある医療機関へ、次に受診した診療所の連携先医療機関、最後に確保病床を有する医療機関に依頼します。医療費は当面国負担で継続するとされていますが、いずれは保険医療で個人負担になります。ただ現在適応になっている治療3剤は高額であり、また重症化は防ぐことができますが軽症者には使いづらい薬剤なので問題が残ります。

当院でも以下のように対応していきたいと思います。

基本方針

5類に移行してもウイルスの特性は変わらないので、病院機能の維持・継続を基本として必要な感染対策を講じて、患者さんはもとより職員への感染を防ぎます。

感染対策

原則、入館者にはマスク着用をお願いします。換気は継続、入り口のアルコール消毒、検温器・受付などに設置のアクリル板も残します。

面会

一定の制限を設けて実施します。（詳細はまたHPなどで紹介します）

入院前検査（PCR・抗原定量検査）

予定入院では原則実施しません。予定入院であっても有症状者には実施します。緊急入院では今まで通り実施します。検査の結果、陽性が判明した場合の入院の可否は担当医の判断によります。

紹介患者の受け入れ

基本的には当院ではかかりつけの患者さんや専門性の高い患者さんを診させていただきます。

いずれにしても感染対策は堅持し、高齢者や基礎疾患のある人を守り、社会、経済、教育をコロナ前に戻すことと、必要な医療提供を維持することが今後の目的であり、国・県・市・医師会と協力して段階的に引き下げていくことが望まれます。

皆さまも5類になっても気を緩めず、十分な感染対策を継続していってください。

「ばら」110号もくじ

2 巻頭言

特集

4 2023年度新体制
5 就任のあいさつ
6 新任医師・初期臨床研修医紹介
10 看護部新体制
12 地域医療連携課と泌尿器科の取組み
14 胃がん施設認定A取得！
15 ロボット支援下直腸手術を開始しました 胃ロボット手術プロクター（指導医）資格取得！
16 非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）を開始しました
18 病院事業会計予算の概要について

連載

19 第49回 歯っと思ったこと
20 第5回 小児科ミニコラム
23 第20回 認知症ケアチームの気になる話
24 第1回 看護部研修だより
26 認定看護師ニュースレター
27 ニュース
28 第2回 小児治験の取組み
29 病院利用者のご意見
30 外来診療担当表
32 ひまわり

［表紙写真について］
今年度、新採用となった看護部の集合写真です。

特集

2023年度 新体制の紹介

副院長

植木　亨

副院長

貞森　裕

院　長

室　雅彦

病院事業管理者

高倉　範尚

診療部

参与
喜岡　幸央

部次長
髙田　一郎

部次長
安井　雅人

部次長
吉川　昌樹

部次長
目瀬　浩

部長
池田　雅彦

臨床研究部

部次長
小川　恒由

部長
遠藤　久之

医療技術部

部次長
瀬戸　裕行

部次長
重西　邦浩

部次長
藪下　和久

部長
藤井　俊宏

経営企画部

建設担当部長
渡邉　桂司

部長
金尾　直樹

がん診療統括部

部次長
井田　健太郎

部次長
岡崎　正典

部長
淺海　信也

看護部・医療支援センター

部長・副センター長
内田　朋子

中央手術部

部次長
山下　安彦

部次長
青江　尚志

部次長
山名　圭哉

部長
日高　秀邦

建設担当部長 就任あいさつ

建設担当部長
渡邉（わたなべ） 桂司（けいし）

今年度の人事異動で、経営企画部建設担当部長に就任しました渡邉桂司です。

今年度から工事が本格化する病院増改築事業を担当いたします。

本事業は、竣工から45年経過し、老朽化・狭隘化した現本館を新本館に新たに改築するとともに、東館・西館の改修を含めた病院全体の部門配置の再編を行い、病棟・診療部門の集約による医療機能の強化・効率化を図るため実施するものです。一方で、医療を継続しながら本館の建て替えや既存棟の改修工事を行うため、建築・改修・解体といった複雑な工事ステップを繰り返しながら進めていく必要があります。

特に新本館の建設においては、現本館を使用しながら段階的に建て替えていく、いわゆる「現地建て替え」を行うため、大きくⅠ期工事とⅡ期工事に分けて建設し、最終的に一体化する計画です。そのため、全体工事の完成は2032年度（令和14年度）末を見込んでおり、今後、おおよそ10年に渡る長丁場となるものです。

なお、新本館Ⅰ期工事は、周産期母子医療センターの早期開設を踏まえ、Ⅰ期完成後、速やかに運用が開始される予定であり、長期事業の中にあって、ひとつの大きな節目となるものと考えています。

改築する新本館は、地下1階、地上7階建て、屋上にヘリポートを設置する計画となっており、延べ面積は約28,800㎡で、現本館の1.4倍の面積規模となります。

また、今後予想される大地震時にも医療を継続できるよう、地震力を吸収し建物の揺れを最小限に抑える「免震構造」を採用することとしています。

現在、基本設計を終え実施設計を進めています。年内には概ね設計を完了し、本年度内に新本館の建設工事に着手する予定です。

当院では、1977年（昭和52年）に現在地へ開院して以来、備後圏域の基幹病院として、この間、東館・西館を増築、「がん・救急・高度専門医療」を充実するなど、医療ニーズの変化に対応した施設の機能強化が図られてきましたが、この度の増改築事業はその集大成となるものと受け止めており、工事を統括する者として身の引き締まる思いを致しております。

私ごとながら、2001年度（平成13年度）から2005年度（平成17年度）までの5年間、当時は市役所営繕課の病院建設担当として、東館の増築と現本館の全面改修工事に携わっておりました。

工事期間中、騒音や振動、また想定外の影響により、お叱りを受けることも幾度となくあり、医療を継続しながらの病院工事の難しさを痛感したものですが、多くのスタッフの方々に協力していただき、助けていただきながら工事を無事やり遂げられたこと、また、医療現場における工事の安全対策や環境対策のあり方、工事側と病院側の相互連携の重要性について、身をもって考えさせられたことは得難い経験であり、私自身の貴重な財産となり礎となっています。

あれから18年、今回は病院組織の一員として、再び増改築事業に携わるご縁をいただきました。工事に際しては、医療現場に支障を来すことのないよう、これまでの経験を活かし、未然に課題解決を図りながら、安全かつ着実な進捗管理に努めてまいります。

もとより、本事業は多岐にわたる移転改修を伴うもので、ハードとソフトの両輪で進めていかなければ成り立たない事業です。

今後、院内をはじめ、関係機関等ともしっかりと連携を図らせていただき、本事業が円滑に遂行できるよう、建設担当部長として精一杯取り組んでまいりたいと考えています。

皆さまのご指導とご鞭撻、またご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

特集 新任医師、初期臨床研修医紹介！！

医師一覧はこちら▶

内科

滝　貴大（たき　たかひろ）

4月より内科にて勤務をしています滝貴大と申します。初期研修と専門医研修を当院にてスタートした後に、地域や大学病院など当院とはまた違った環境での研修をしておりました。呼吸器内科領域を中心に幅広い内科診療で地域のみなさまに寄り添い支えていけるよう、日々勉強しながら精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

■趣味：チェロの演奏、オーケストラ　座右の銘：報恩謝徳

内科 科長

根岸　慎（ねぎし　しん）

出身は福山で以前福山市民病院で5年間働いており、3年ぶりに再び当院で勤務することになりました。消化器疾患を専門に診察、治療を行っています。安全な医療を提供できるように頑張りますので、これからよろしくお願いいたします。

■趣味：バドミントン　座右の銘：人事を尽くして天命を待つ

内科

山内 美翔（やまうち　みか）

今年度より消化器内科医として1年間福山市民病院で研修させていただく専攻医3年目の山内美翔と申します。出身地は愛媛県で、初期研修から前年度まで岡山県の川崎医科大学附属病院で研修しており、広島県で過ごすのは初めてです。また、市中病院で勤務させていただくことも初めてなのでご迷惑をおかけするかと思いますが、患者さまや医療スタッフの皆さまとの出会いを大切に日々頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

■趣味：愛猫と遊ぶ　座右の銘：一期一会

内科

山内宗一郎（やまうち　そういちろう）

今年から1年間福山市民病院で勤務させていただくことになりました。川崎医科大学附属病院にて4年間医師として勤務し、今年で5年目になります。まだまだ若輩ではございますが、皆さまに寄り添った医療を提供できるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：旅行　座右の銘：有言実行

内科

丸谷 梨栄（まるたに　りえ）

今年度より新任で参りました、卒後3年目の丸谷梨栄と申します。専攻は消化器内科です。尾道市出身で、中高は広大附属（広島）に通い岡山大学を卒業後、初期は岡山市民病院で研修をしていました。邦ロックが好きなのと、初期研修医時代からキャンプにはまっているのでお勧めのキャンプ場があれば是非教えてください。不慣れなことが多いですが、誠実に仕事に取り組んでいきたいと思います。これからどうぞ宜しくお願いいたします。

■趣味：音楽鑑賞、ライブ・フェス参戦、硬式テニス、キャンプ　座右の銘：塵も積もれば山となる

内科

安富 有希（やすとみ　ゆき）

はじめまして。今年度から内科の専攻医として研修させていただきます安富有希と申します。まだまだ未熟で至らない点も多くありますが、一生懸命頑張ります。また福山に住むのは初めてなので色々ご教示いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

■趣味：旅行　座右の銘：継続は力なり

内科

越智 清暁（おち　きよあき）

4月より内科に赴任いたしました越智清暁と申します。広島市民病院から転勤して参りました。福山市民病院で勤務させていただけて感謝しています。
福山の医療に貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

■趣味：旅行　座右の銘：一期一会

内科

長田 瑠莉（ながた　るり）

川崎医科大学から参りました長田瑠莉と申します。私は鳥取県米子市出身で大学入学と共に山陽側へ来ました。初期研修中に腎臓内科の扱う疾患は急性期から慢性期と幅広く、また全身臓器と関わることも多い点に魅力を感じ腎臓内科に進みました。腎臓専門、また内科として少しでもお力になれるよう頑張って参りますのでよろしくお願いいたします。

■趣味：料理　座右の銘：神は乗り越えられる試練しか与えない

循環器内科 医長

津島（つしま） 龍（りゅう）

初めまして。香川県立中央病院からまいりました循環器内科の津島龍と申します。不整脈領域を中心に診療に携わらせていただきます。至らない点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■趣味：テニス　座右の銘：一期一会

産婦人科 科長

早田（はやた） 桂（けい）

この度、産婦人科に赴任となりました医師23年目の早田桂と申します。前任地の岡山大学病院では約11年間、主に周産期医療に従事し、ハイリスク妊娠・分娩、産科救急に対応してきました。また臨床遺伝専門医の資格があり、出生前診断に関する遺伝カウンセリングも行います。妊産婦、胎児がより高い水準で医療の恩恵を受けることができるよう、精進してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■趣味：旅行、キャンプ、中日ドラゴンズ　座右の銘：木鶏

外科

早間（はやま） 洋平（ようへい）

外科専攻医1年目の早間洋平と申します。初期臨床研修2年間に引き続き、当院で研鑽を積めることを嬉しく思います。外科・呼吸器外科の診療を通して患者さまに寄り添う医療が提供できるよう日々努めて参ります。未熟で至らない点もあるかと思いますが、誠心誠意頑張ります。引き続きよろしくお願いいたします。

■趣味：キャンプ、ゲーム　座右の銘：為せば成る

整形外科 科長

岡田（おかだ） 幸正（ゆきまさ）

膝関節を中心とした下肢の変性疾患を専門に診療しています。歩く時に足が痛かったり、しびれたり、関節が動かしにくい症状がある時には是非相談ください。

■趣味：料理　座右の銘：初心忘るべからず

整形外科

藤井（ふじい） 貴昭（たかあき）

整形外科専攻医の藤井貴昭です。初期研修から引き続き当院でお世話になります。まだまで未熟ではありますが、地域の皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。

■趣味：ゴルフ、お酒　座右の銘：有言実行

形成外科

土谷（つちや） 光太（こうた）

初めまして。形成外科専攻医1年目の土屋光太と申します。昨年度まで沖縄の県立病院にて初期研修を行っておりました。広島県に来てまず嬉しかった事は、海産物が美味しいことでした。患者さんに寄り添った医療を心がけ、最善を尽くしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

■趣味：ゴルフ　座右の銘：知足者富

内科

宮本（みやもと） 奈実（なみ）

専攻医1年目の宮本奈実と申します。初期研修から引き続き当院で勤務させていただきます。福山の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

■趣味：読書　座右の銘：継続は力なり

循環器内科

齊藤（さいとう） 宇亮（たかあき）

循環器内科 新任の齊藤宇亮と申します。出身は岡山市で前任地は山口県岩国市でした。最近はサウナを習慣としておりますが、福山市には個人的に良いサウナ施設が複数あり、サ活が充実しそうです。今後は福山の循環器診療に貢献出来るよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：トレーニング、サウナ　座右の銘：人間万事塞翁が馬

外科

桑田（くわだ） 起雄（たつお）

外科専攻医の桑田起雄と申します。初期研修から引き続き当院で勤務させていただきます。地元福山の医療に少しでも貢献できるように日々研鑽を積んでまいります。至らぬ点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

■趣味：ドライブ、料理　座右の銘：一期一会

外科

藤井（ふじい） 広（ひろ）

外科専攻医1年目の藤井広と申します。2年間の初期研修から引き続き当院にて働くこととなりました。まだまだ分からないことだらけではありますが、福山の医療に貢献できるように研鑽していきますので今後ともよろしくお願いいたします。

■趣味：サイクリング　座右の銘：七転び八起き

整形外科

市川（いちかわ） 天彦（たかひこ）

初期研修医から引き続きお世話になります。ご迷惑をかけることも多々あるとは思いますが、半年間よろしくお願いします。

■趣味：キャンプ　座右の銘：一所懸命

形成外科

大森（おおもり） 啓史（ひろし）

初めまして。今年度から配属となりました、卒後5年目の形成外科 大森啓史と申します。出身は熊本県であり、大学から岡山に来まして福山に来たのは初めてです。まだまだ未熟ではありますが、少しでもこの福山で力になれたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：弓道、読書　座右の銘：習慣は第二の天性なり

泌尿器科

浅原 啓介（あさはら けいすけ）

泌尿器科の浅原啓介と申します。当院で初期研修を修了し、泌尿器科専攻医として引き続き当院で勤務することになりました。一人一人の出会いを大事にして、よりよい医療を提供できるよう頑張って参ります。これからよろしくお願いいたします。

■趣味：料理、ジム　座右の銘：一期一会

乳腺甲状腺外科 医長

吉川公見子（よしかわ くみこ）

4月から乳腺甲状腺外科に赴任いたしました吉川公見子と申します。
香川県の出身で、これまでは瀬戸内海沿岸の中四国の病院で外科の研修を行ってきました。この度福山市民病院に赴任できたことを大変嬉しく思っております。微力ではありますが、少しでも皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

■趣味：読書、パン作り　座右の銘：塞翁が馬

眼科

奥田 聖瞳（おくだ せいどう）

広島市民病院より参りました、眼科の奥田聖瞳と申します。出身は松永で、馴染みのある地で働けることを嬉しく思います。よろしくお願いします。

■趣味：マラソン　座右の銘：継続は力なり

小児科

中村 祐太（なかむら ゆうた）

小児科専攻医1年目の中村祐太と申します。福山市民病院小児科専門研修プログラムのもと、初期臨床研修に引き続き、今年度も福山市民病院で勤務させていただきます。いずれは小児科の中でも専門分野を定めていくことになると思いますが、まずは一般小児をしっかりと学び、小児の総合診療医としての基礎を固めていく所存です。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

麻酔科

窪木福太郎（くぼき ふくたろう）

今年度より麻酔科専攻医として赴任いたしました窪木福太郎です。福山医療センターで初期研修をした後、岡山大学病院で1年間後期研修をしておりました。この度福山に戻ってくることができ嬉しく思っています。いち早く新しい環境に慣れ、福山の医療に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：映画鑑賞、料理　座右の銘：神色自若

眼科

山本 美穂（やまもと みほ）

眼科レジデント2年目の山本美穂です。まだまだ眼科医として未熟ではありますが、2年間精一杯勤めさせていただく所存です。なにかとご迷惑をかけることもあると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

■趣味：読書、アニメ鑑賞、ヨーガ　座右の銘：人生山あり谷ありだが、上から見ると一本道

救急科

前田 徳也（まえだ なるや）

呉出身、広島大学卒ですが、縁あって福山で仕事をさせて頂くことになりました。赤ちゃんからお年寄りまで、すべての患者さん、すべての臓器を診られる医師に憧れ、この道を選びました。どんな時でも冷静で熱く笑顔の（内面は）イケメン？救急医を目指して頑張ります。患者さま、他の医療者の皆さまに信頼され、親しまれる医師であれるよう努めてまいりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

■趣味：旅行、ドライブ　座右の銘：Help ever, hurt never

放射線診断・IVR科

大原小百合（おおはら さゆり）

放射線診断・IVR科の大原小百合と申します。出身は福山で、福岡大学を卒業後、中国中央病院、福山医療センターを経て福山市民病院に赴任いたしました。地元が大好きなので、また福山で働くことができ嬉しく思います。勉強することが山ほどありますが、日々研鑽を積んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

■趣味：海外ドラマ鑑賞　座右の銘：継続は力なり

初期臨床研修医

岡 亮太朗（おかりょうたろう）

4月より初期臨床研修医として働かせていただいております、岡亮太朗と申します。香川県出身で岡山大学を卒業しました。大学ではユースホステルクラブという部活に所属しておりました。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：海外旅行　座右の銘：日進月歩

初期臨床研修医

石塚真之佑（いしづかしんのすけ）

初めまして。石塚真之佑と申します。大阪医科大学（現 大阪医科薬科大学）を卒業しました。祖父母が福山に住んでおり福山には多少の所縁はありますが、まだまだ慣れないことが多いためこれから慣れていこうと思います。仕事についても分からない事ばかりでご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一刻も早く仕事に慣れて一人前になれるよう努力いたします。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

■趣味：ドライブ　座右の銘：明日のために、今日頑張る

初期臨床研修医

小寺 未来（こでら みく）

4月より初期研修医として働かせていただいております、小寺未来と申します。福山市出身で、広島大学附属福山中高、岡山大学を卒業しております。自分を育ててくれた大切な地である福山市で働けますことを大変うれしく思っております。1つ1つの出会いや経験を糧に、皆さまに信頼していただけるような医師を目指して精進して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

■趣味：ライブ鑑賞　座右の銘：誠心誠意

初期臨床研修医

桑田 浩平（くわだ こうへい）

4月より初期研修医としてお世話になります。桑田浩平と申します。出身高校は広島学院高校、大学は長野県にある信州大学です。地元である福山市で医師としての一歩を踏み出せることに喜びを感じています。周りの人々への感謝と尊敬の気持ちを忘れず、研修医として責任感を持って何事にも全力で取り組みます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。

■趣味：登山、ゴルフ　座右の銘：継続は力なり

初期臨床研修医

下見 怜央（しもみ れお）

初めまして。愛媛大学から来ました、下見怜央と申します。大学では、陸上競技部に所属していました。この度、生まれ育った福山市で初期研修医として働けることを大変光栄に思います。至らない点も多々あると思いますが、日々勉強で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：ランニング　座右の銘：努力に勝る天才なし

初期臨床研修医

小西 史哲（こにし ふみあき）

4月より初期研修医として勤務させていただきます小西史哲と申します。出身高校は広島大学附属福山高校、出身大学は愛媛大学です。中学・高校と過ごした福山市で初期研修医が出来ますこと、とてもうれしく感じております。備後・井笠地域の医療を担う病院の一員としてこの地域の医療に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。

■趣味：読書、ランニング　座右の銘：百聞は一見に如かず

初期臨床研修医

土井廉太郎（どいれんたろう）

4月より初期研修医として入職しました、土井廉太郎と申します。出身高校は広島なぎさ高等学校、出身大学は岡山大学です。中学・高校と将棋部に所属し、大学では卓球部に所属しておりました。地元は広島県広島市なので、福山で暮らすのは初めてですが、地域の皆さまに安全な医療を提供できる医師になれるよう、誠心誠意努めてまいります。至らぬ点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：卓球、筋力トレーニング　座右の銘：清廉潔白

初期臨床研修医

寺田 知世（てらだ ともよ）

4月より初期研修医としてお世話になります、寺田知世です。出身地は岡山県で、岡山白陵高校、岡山大学を卒業しました。大学ではゴルフ部に所属していました。福山で生活するのは初めてですが、一刻も早く地域に貢献できる医師となれるよう日々精進したいと思います。至らぬ点が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

■趣味：ゴルフ、映画鑑賞、旅行　座右の銘：千里の道も一歩から

初期臨床研修医

宮地 葵（みやぢ あおい）

初めまして。初期研修医1年目の宮地葵と申します。福山市出身で、広大附属福山高校、島根大学を卒業しました。慣れ親しんだ地で、院内にも地域にも既知の方も多い中で研修できますこと、大変心強く、また非常に身の引き締まる思いです。やっとスタート地点に立ったばかりの未熟者ですが、精一杯頑張りますので、みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。

■趣味：ドライブ、音楽関係全般　座右の銘：命あっての物種

初期臨床研修医

溝上 悦生（みぞうえ えつお）

4月より初期臨床研修医として働かせていただきます溝上悦生と申します。出身高校は岡山朝日高校で、出身大学は徳島大学です。部活動はゴルフ部に所属していました。福山市の医療に少しでも貢献できるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■趣味：ゴルフ　座右の銘：思い立ったが吉日

初期臨床研修医

山﨑 礼羅（やまさき らいら）

広島大学病院で1年間研修し、残りの1年を福山市民病院で研修させていただくこととなりました。初期研修医2年目の山﨑礼羅です。まだまだ医師業務に対する理解は浅いままですので、この1年間で将来の進路を見据えながら研修を深めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

■趣味：折り紙、スノボ、ドライブ、旅行、ゲーム、お酒　座右の銘：和を以て貴しと為す

初期臨床研修医

矢野 秀幸（やの ひでゆき）

4月から初期臨床研修医1年目として働かせていただきます矢野秀幸と申します。出身高校は福山市立福山高校、出身大学は愛媛大学です。部活動は中学校から大学までの12年間バレーボールをしていました。地元である福山で初期研修できることをとても嬉しく思っています。福山の医療に貢献できるよう、より一層努力していきます。よろしくお願いいたします。

■趣味：映画鑑賞、サウナ　座右の銘：言うは易く行うは難し

Fukuyama City Hospital ***NEWS***

NEWS

辞令交付式を行いました

４月３日、新任職員へ辞令交付式を行いました。高倉病院事業管理者から辞令が交付され、訓示が述べられました。職員一同、新年度に向けて身が引き締まる思いで聞き入りました。

特集 2023年度

看護部新体制

副看護部長 井上 和美

2023年4月、看護部は39人の新採用者を迎え、看護師・助産師646人（臨時職員を含む）ナースアシスタント・クラーク他71人の総勢717人でスタートしました。

当院は、福山・府中二次保健医療圏内の感染症指定医療機関であるほか、救命救急センターを併せ持つ三次救急医療を担う病院です。新型コロナウイルス感染症の国内発生から丸3年が経過し、新型コロナウイルスの感染症法上の分類について、5月8日に現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に位置づけられることが決定しました。世間ではマスク着用の目安をはじめ、徐々に行動制限が緩和されてきています。この数年、当院は新型コロナウイルス感染症に対する取り組みをこの地域の先頭に立ち、地域の皆さまに安全・安心な医療を提供するために取り組んでまいりました。5月以降もコロナウイルスの感染力が低下するわけではありません。引き続き感染対策行動を徹底しながら、当院の役割を果たしていけるよう取り組んでまいります。感染状況がどのように変化していくのか、現時点ではわからないこともありますが、正しい情報を速やかに収集していき、今まで制限されていたご家族の面会や対面での研修等についても検討を重ねていく必要があります。コロナ前の日常を取り戻しつつも、引き続き職員一人ひとりが「うつらない、うつさない」行動の徹底をする年度であると思っています。

そして、2032年の新本館全面オープンに向け、2021年度から始まった本館建替え事業ですが、2022年は北東立体駐車場の建設を行いました。2023年は北立体駐車場の解体と建設、仮設外来棟の建設、本館南側の解体などを予定しており、いよいよ療養や診療スペースに近い場所で工事が始まります。来院される皆さまにはご迷惑をおかけすることになりますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、看護部の理念でもある「日々の看護を見直し、自己を磨き、ぬくもりの届く看護をしよう」のもとに、今年度は「笑顔でスタート！」をスローガンに掲げました。マスクが日常になった毎日ですが、笑顔を忘れず、患者さまやご家族の想いを大切にし、患者さまにとっても職員にとっても安全な医療が提供できる病院を目指していきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

▲看護部HP

福山市民病院看護部理念　日々の看護を見直し、自己を磨き、ぬくもりの届く看護をしよう

●2023年度看護部の目標

①安全で質の高い看護の提供

1. 自律性主体性を伸ばす関りを通して OJT を推進する
2. 対話を通して、安全な看護を提供する

②感染対策の継続的な実践と、患者・職員にとって安全・安心な環境の提供

1. 適切な感染対策行動の習慣化をはかる
2. 患者・家族の想いを大切にした療養生活の支援をする
3. 感染対策室との連携、部署間のサポート体制を継続する

③いきいきと働き続けられる職場環境づくり

1. 対話を重視し、成長しあえる環境をつくる
2. ナースアシスタント・クラーク等、多職種との連携推進を行う

●2023年度看護部スローガン

笑顔でスタート！

●看護部の基本方針

① 人間の尊厳と人権を尊重し、倫理的配慮に基づいた看護を行います
② 基本を守り、安全・安心な看護を提供します
③ 地域包括ケアを推進し、継続した質の高い看護を提供します
④ 豊かな人間性と専門性を持った看護実践ができる人材育成を行います
⑤ チーム医療を推進し、看護が果たすべき役割を実践します
⑥ 働き方改革を推進します
⑦ 病院経営に参画します

看護部組織体制

看護部長 兼 医療支援センター副センター長　内田 朋子

東館担当

副看護部長　豊田 恭子

部署	看護師長	副看護師長	主査
救命救急センター（ICU/CCU）	中村 道明	近藤 真帆	馬屋原 涼子
			吉川 麻美
救命救急センター（HCU）	井上 由美	佐藤 由香	小山 亜紀子
			宮奥 淳江
東館3階病棟	小畠 正江	畑 浩子	株根 靖子
			松元 三枝子
東館4階病棟	眞田 美樹	三浦 由恵	道久 千保
			近藤 千明
			井口 有紀
東館5階病棟	池尻 英子	山本 昌子	神田 香織
			藤井 久美子
			山本 美恵
東館6階病棟	平野 泉	行保 吉美	土屋 奈穂子
			小林 広美

本館担当

副看護部長　仕田原 照美

部署	看護師長	副看護師長	主査
本館3階病棟	小林 友美	彦田 洋子	佐藤 恭子
			重政 兼悟
本館4階病棟	藤井 真弓	後藤 麻里	弓井 雅世
			近藤 未来
			吉岡 宏美
本館5階病棟	菅本 真知子	川﨑 恵美	高橋 佳子
			奥村 亜沙美
本館6階病棟	佐藤 香代	荒木 かおり	松本 良子
			中村 悦子
本館7階病棟	杉原 奈津子	平 路絵	齋藤 綾子
		川波 利子	藤井 ひとみ
手術・中材	水本 典子	森原 笑美子	谷本 知恵
			大田 晋平

西館担当

副看護部長　野々平 裕子

部署	看護師長	副看護師長	主査
集中治療室	木村 由佳	平岡 尚子	小林 美紗代
			橘髙 照美
			池田 雅美
西館4階病棟	藤本 理美	堀 貴子	玉置 真依子
			菰渕 愛貴
西館5階病棟	結城 幸子	水戸 直美	畠山 幸子
			東 美希
西館6階病棟	山口 起代美	坂本 理恵	村上 里子
			岩田 朋見
			北村 祐子
外来	吉原 信子	谷 登実子	目﨑 朋子
			井上 智尋
		佐藤 貴美	堀本 純子
			永井 美貴
検査	塚村 夕布子	松岡 美妃	猪原 祐佳
		四茂野 百合子	

教育担当

副看護部長　井上 和美

看護師長	瀬戸 喜久美

安全管理室

看護師長	神原 芳美

感染対策室

看護師長	三宅 智津恵
主査	手嶋 純子

医療支援センター・地域医療連携課

副看護部長	斎藤 靖子
副看護師長	藤本 悦子
	安原 加奈美

地域医療連携課と泌尿器科の取組み

当院泌尿器科では、紹介いただいた患者さんの受診待ちが1～2か月と長く、以前から課題となっていました。その課題を解決すべく原因を調査したところ、紹介初診患者さんの中には必ずしも当院の受診が必要ではなく、地域の医療機関で診察可能な病状の患者さんも含まれていることが分かりました。

泌尿器科の再診患者を縮減し、受診待ち日数の短縮等を目的とした医療連携の取組みをご紹介します。

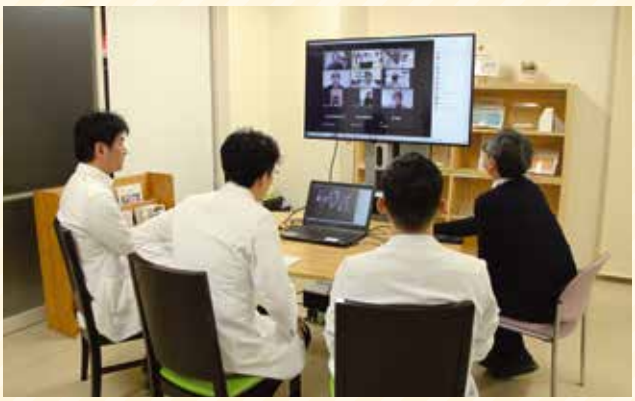
2023年2月
第1回泌尿器領域　医療連携・意見交換会
（圏域の泌尿器専門医との意見交換会）

司会
福山市民病院　副院長・医療支援センター長 …… 植木　亨

■福山市民病院　泌尿器科　統括科長 …… 黒瀬恭平
「当院泌尿器科の現状と医療連携について」

■福山市民病院　泌尿器科　科長 …… 髙本　篤
「トリアージ要件について」

■意見交換



当日の様子（左から黒瀬医師・植木医師・高本医師）

当院からの提案	・非専門医から専門医へ紹介する連携を推進したい。 ・非専門医から当院への紹介患者のうち、当院での治療を要しない患者について泌尿器科の専門医である先生方を紹介先として推薦させていただきたい。 ・推薦させていただく基準（非専門医から専門医への紹介基準）を「トリアージ要件」として考えたのでご意見を頂戴したい。

地域の泌尿器科クリニックの受診をお願いする（例）

① 検診尿潜血・顕微鏡的血尿（肉眼的血尿は除く）
② 会陰部や陰嚢の不快感、陰茎陰嚢のしこりなど（陰茎癌・捻転症は除く）
③ 排尿困難、頻尿、尿もれなど
④ 膀胱や尿路結石疑いの方（尿路感染併発は当院で対応）
⑤ 高齢者（80歳）以上のPSA高値

参加された専門医の先生方のご意見抜粋

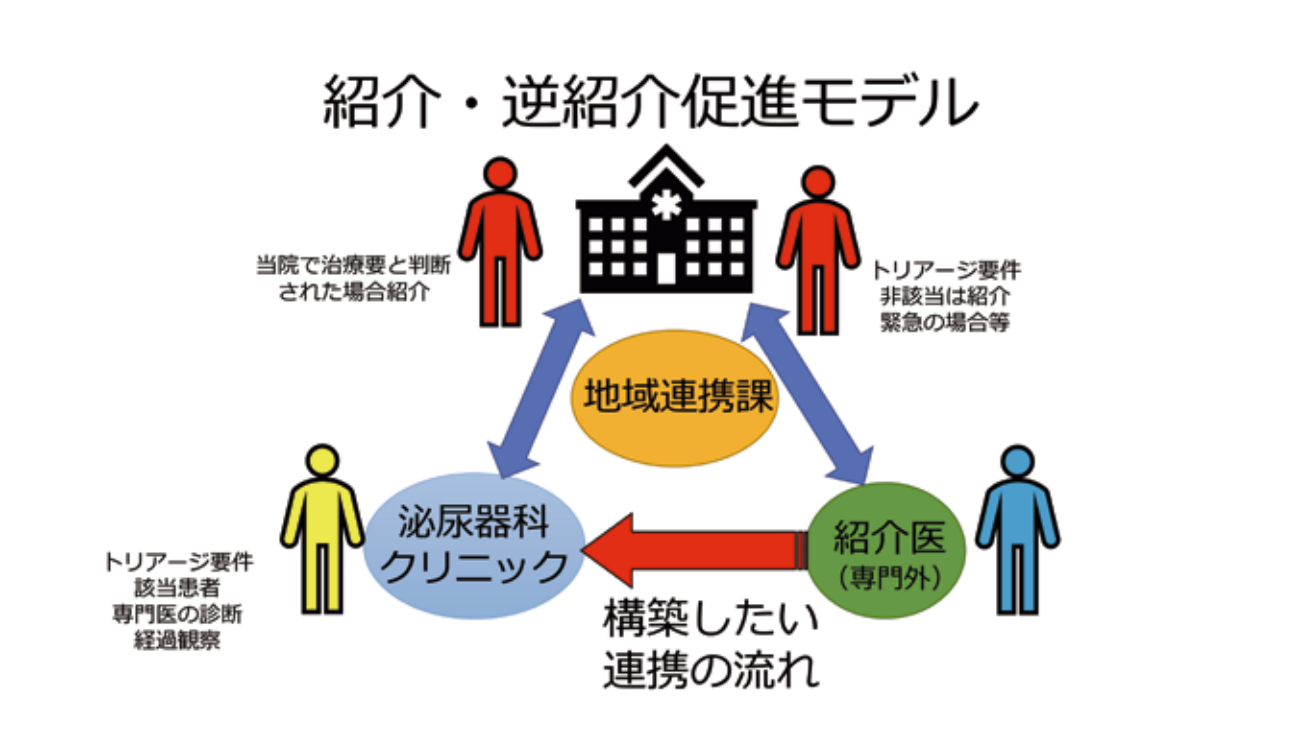
・紹介しても患者の待ち時間が長く、あきらめて他院を紹介した経験がある。今回話を伺って、外来が大変な状況なのは理解できた。
・薬の処方のみ、注射のみの患者は地域へ戻してはどうか。
・提案のあったトリアージ要件に沿って受けていきたい。
・治療成績などの情報も提供してもらいたい。

泌尿器領域の専門の先生方にZoomで参加していただき、非専門医から紹介された患者さんで「トリアージ要件」に該当する場合に、専門医の先生方を推薦させていただくという提案をしました。当日参加されなかった先生方には資料を送付し、内容について意見を伺いました。

その結果肯定的な意見を多くいただけたことから、非専門の先生方への案内を行うこととしました。

泌尿器科　連携専門医療機関一覧

医師会	医療機関名	医師会	医療機関名
福山市	三宅会グッドライフ病院	府中地区	新市ときながクリニック
福山市	奥坊クリニック	府中地区	府中市民病院
福山市	赤木皮膚科泌尿器科	府中地区	やすかわ泌尿器科クリニック
福山市	山陽病院	深安地区	やまてクリニック
福山市	沖野上クリニック	松永･沼隈	西福山病院
福山市	楠本病院	松永･沼隈	瀬尾クリニック
福山市	徳永医院	松永･沼隈	村上泌尿器科内科医院
福山市	福山第一病院	井原	井原腎泌尿器科クリニック
福山市	水永リハビリテーション病院	井原	井原市立井原市民病院
福山市	明神館クリニック	笠岡	笠岡第一病院
福山市	日本鋼管福山病院	尾道市	尾道市立市民病院
福山市	ふくやま北泌尿器科･内科クリニック	尾道市	公立みつぎ総合病院
府中地区	小畠病院	三原市	総合病院　三原赤十字病院
府中地区	後藤泌尿器科医院	三原市	興生総合病院
府中地区	寺岡記念病院		



まとめ

2023年4月現在、医師会の了承をいただき、地域の泌尿器科非専門の先生方へ周知文と資料を送付しました。この取組みはまだ開始したばかりで、定着には一定の時間が必要と考えています、

この取組みが患者負担の軽減に繋がることに期待するとともに、他科でも同様に取組める可能性があり、効果を追跡していきたいと考えています。

今後も患者さんに適切な医療が提供できるよう努めてまいります。ご協力をお願いいたします。

＜日本胃癌学会が新たに制度創設＞

認定施設Aを取得しました！

申請責任者（外科）
香川 哲也（かがわ てつや）

日本胃癌学会

認定施設認定証

日本胃癌学会認定施設Ａ

福山市民病院 殿

認定番号： 施 A023-109

認定期間： 自 2023年 4月 1日
至 2026年 3月31日

貴施設を 日本胃癌学会認定施設Ａ として認定し本証を交付する。

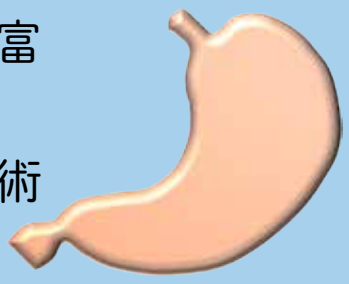
2023 年 4月 1日

一般社団法人 日本胃癌学会

理事長 掛地 吉弘

認定条件

- 各領域の専門医が在籍
- 治療件数が豊富
  - 外科手術
  - 内視鏡切除術
  - 化学療法
- 病理診断・合同カンファレンスが充実
- 学会参加・論文実績 など



胃がんは、原因となるピロリ菌の治療が進んだことで、全体的には減少傾向にあります。しかし、現在でも日本で3番目に多くの方が悩まされているがんです。

日本の胃がん診療は世界をリードすると言われています。内視鏡診断はより正確になり、内視鏡治療の対象も広がりました。手術は開腹から腹腔鏡・ロボットといった低侵襲手術に大きくシフトしました。新たな化学療法も開発され、より高度な知識が求められるようになっています。また、これらの治療には正確な病理診断が欠かせません。

これまでに積み重ねてきた高度な胃がん診療レベルを維持し、さらに発展させるためには、減少傾向にある患者さんを分散するのではなく、一定の施設へ集約する必要があります。

このような背景をもとに、日本胃癌学会が新たに施設認定制度を創設し、2023年4月に認定施設が誕生しました。施設認定はAとBの2種類あります。福山市民病院は、より高度な医療体制を整えた病院として、【認定施設A】に認定されました。また、県東部で唯一、最先端のロボット胃切除術が提供可能な認定病院です。認定には、

- 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- 日本消化器外科学会 消化器外科専門医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定取得者
- 日本臨床腫瘍学会 薬物療法専門医
- 日本病理学会 病理専門医
- 日本臨床細胞学会 細胞診専門医

の全てにおいて、2名ないし1名以上の常勤が求められます。いずれも高度な知識が必要で、取得ハードルが高いものばかりです。加えて、日本胃癌学会での研究発表、英語での論文発表といった学術的な内容が求められます。さらには、個々の患者さんについて、ベストな治療方針を決めるための合同カンファレンスの充実や、治療方針・結果に関わる病理診断の体制が整っていることが求められます。また、緩和治療や放射線診断・治療も重要です。

当院のこれまでの取り組みが認められ、無事に認定されたわけですが、申請には多くの資料を提出する必要がありました。その過程で、治療に直接携わる医師・看護師だけでなく、検査・病理・臨床工学など高度医療を根幹で支える部門、地域医療機関と福山市民病院の間で患者さんを円滑に繋いでくれる部門、臨床研究や複雑な事務処理を担当する部門に至るまで、極めて多くの人々が当院の胃癌診療を支え、発展させてくれていることを改めて認識しました。

院内の患者さんに最善の治療を尽くすのはもちろんのこと、地域の胃がん診療レベルの向上にも寄与できるよう、職員一体となって認定施設の役割を果たしていきたいと思います。

当院でロボット支援下直腸手術を開始しました

外科 科長
三浦 奈緒子

2018年4月から直腸手術に対して、2022年4月から結腸がん手術においてロボット支援下手術が保険診療で行えるようになりました。

当院でも、消化器外科領域では2021年から胃に対して、2022年から膵臓、肝臓に対してロボット手術を導入していますが、この度、大腸(直腸)領域でもロボット手術が保険診療で行えるようになりました。

医師、看護師、臨床工学技士からなるチームを立ち上げ、安全性に最大限配慮しつつ、体制整備と準備を経て、2023年4月よりロボット支援下直腸切除術を開始しています。

従来の腹腔鏡手術も優れた方法ではありますが、使用する鉗子は直線的な動きしかできず、狭い骨盤内での操作では時に難渋することもあります。しかし、ロボット手術においては「多関節による自由度の高い鉗子操作」「手振れ防止機能」などの利点を活かしたより精緻な操作が可能となり、機能温存などの面でも更なる治療成績の向上が期待されています。

患者さんの病状や全身状態に合わせて、ベストな方法を提案させていただき、安全でレベルの高い外科治療を提供していきたいと思います。

胃ロボット手術プロクター(指導医)資格取得！

外科 科長
香川 哲也

2023年4月、日本内視鏡外科学会が認定するロボット支援手術プロクター（手術指導医）に認定されました。この資格は、ロボット手術を円滑且つ安全に指導できる者を認定する制度です。胃の領域では、難易度の高い胃全摘を含む40例以上のロボット手術執刀経験、ロボット手術に関する研究･発表、その他の条件をクリアした術者が認定されます。広島県では4人目で、県東部では唯一です。2021年12月のロボット胃切除術の導入から1年半で目標が達成できました。協力してくださったスタッフ一同にお礼申し上げます。

広島県内のプロクタ(胃)

手術指導の様子

最も大切なのは、患者さんに還元することです。資格取得により、他の医師によるロボット手術が可能になりました。つまり、より多くの患者さんにこの手術が提供できることになります。当院がロボット胃切除術を高いレベルで安全に提供し続けられるよう、より一層チームで取り組んでいきたいと思います。

非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）を開始しました

産婦人科 科長　早田　桂
髙原 悦子

「ばら」第104号で胎児超音波スクリーニングシステム、第107号で無痛分娩の開始を御報告させていただきましたが、この度、非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）連携施設として認定を受け、2023年4月よりNIPTを新たに開始させていただくことになりました。岡山大学病院の連携施設として協力しながら行います。

NIPTは将来、当院の周産期母子医療センター開設に向けて、備後地域における産科医療の充実と地域医療の発展に貢献ができるように、胎児超音波スクリーニング、無痛分娩と共に新しくはじめた取り組みです。

出生する赤ちゃんの約3～5％は先天性疾患を持って生まれてくると言われており、その中で染色体が原因の疾患は約25％と言われています。胎児超音波スクリーニングも染色体の検査についてもただ単に異常（疾患）を見つけることが目的ではありません。病気が事前に見つかっていないと、分娩場所によっては出生後の救急搬送により、重篤な後遺症等を残す場合もあります。その疾患の重症度を予測し、生まれてくる赤ちゃんと妊婦さんに対して、適切な処置ができる施設や分娩方法を準備し、より安全に出産して頂いたり、あらかじめ病気を理解し、赤ちゃんのお母さんやお父さんが心の準備をするための材料にもしていただきたく、今回、当院では医療の充実をはかりました。

染色体が原因となる生まれつきの変化を含め、赤ちゃんが先天性疾患を持つことは人としての多様性の一つですが、産まれてくる前に赤ちゃんの染色体疾患を調べる方法があります。

ＮＩＰＴはそうした検査の方法の1つです。また侵襲的で流産リスクのある羊水検査等を受けるかどうかの判断として行う検査とも言えます。検査対象となる染色体疾患はダウン症候群（21トリソミー）、18トリソミー、13トリソミーの3つであり、全ての染色体異常は検査できません。当院では妊娠10週以降15週未満の妊婦さんに血液検査を行い、妊婦さんの血液中に浮遊している胎児のＤＮＡを分析して結果を出します。ＮＩＰＴは非確定検査であるため、検査が陽性の場合、診断を確定するためには羊水検査を行うことになります。なお当院で今まで行ってきたクアトロテストも非確定検査の一つであり、こちらも引き続き行ってまいります。

当院では出生前検査認証制度等運営委員会の指導に基づき、ＮＩＰＴを行います。

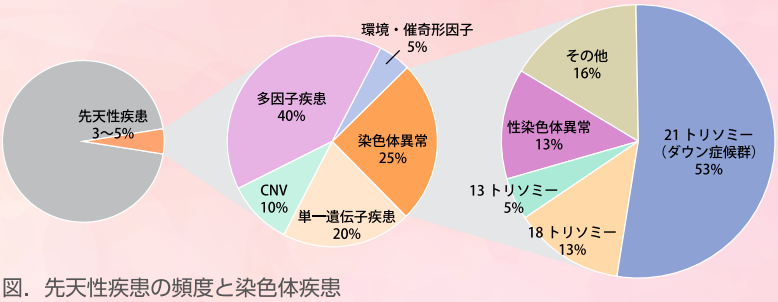
〈検査の流れ〉

必ずパートナーと二人で臨床遺伝専門医、またはそれに準ずる医師からのカウンセリングを受けて頂きます。遺伝カウンセリングを通じて検査と染色体疾患について妊婦さん自身とパートナーが十分理解、納得した上で実際に検査を受けるかどうか決めていただき、同意された場合は採血を行います。

ＮＩＰＴをご希望の方は、まずはかかりつけ医にご相談ください。

将来、当院の周産期母子医療センター開設に伴う分娩数や受診患者さんの増加を見越し、今後カウンセリングを行える医師の人材育成や資格獲得を積極的に行っていきます。

引き続き周産期における地域医療へ貢献して、安心で安全な分娩ができるように、また多くの妊婦さんに元気な赤ちゃんを産んでいただけるように、産婦人科一同頑張っていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。



図．先天性疾患の頻度と染色体疾患
（Thompson & Thompson Genetics in Medicine 8th Edition Saunders 2016; Wellesley D, et al. Eur J Hum Genet 2012: 20:521）

（出典元：令和３年度 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「出生前診断の提供等に係る体制の構築に関する研究」）

▲ NIPT HP

管理課

2023年度（令和5年度）病院事業会計予算の概要について

管理課長　松岡 潔

●業務概要

当院は、高度急性期・急性期機能を担う圏域の基幹病院として、「救急医療」・「がん医療」・「高度専門医療」を大きな柱に、質の高い安全な医療の提供に取り組んでいます。

今年度は、その3つの柱の機能強化及び周産期医療の充実を図るため、本館の建替えなど増改築工事に着手するとともに、北立体駐車場を整備します。医療機器については、「手術支援ロボット」や「超音波診断装置」の更新などを行います。また、総合周産期母子医療センターの整備に向け、看護師・助産師を増員するほか、医療技術職員等についても増員し、医療提供体制を充実します。

引き続き、経営の健全化を図り、持続可能な病院経営を行っていきます。

（1）収益的収入及び支出

（単位：円）

区　　分	2023年度予算額	2022年度予算額	増　減　額
病院事業収益	227億4,421万	217億8,405万	9億6,016万
医業収益	207億8,606万	202億3,951万	5億4,655万
入院収益	142億9,596万	137億9,700万	4億9,896万
外来収益	58億1,390万	56億8,771万	1億2,619万
その他医業収益	6億7,620万	7億5,480万	△7,860万
医業外収益	19億5,359万	15億3,806万	4億1,553万
負担金交付金	4億5,592万	4億4,565万	1,027万
国・県補助金	6億1,575万	1億9,795万	4億1,780万
その他医業外収益	8億8,192万	8億9,446万	△1,254万
特別利益	456万	648万	△192万
病院事業費用	230億3,820万	217億3,859万	12億9,961万
医業費用	220億　951万	209億5,244万	10億5,707万
給与費	100億3,023万	95億1,461万	5億1,562万
材料費	75億9,012万	73億5,660万	2億3,352万
経費	32億5,431万	29億6,855万	2億8,576万
減価償却費	9億7,701万	9億7,165万	536万
その他医業費用	1億5,784万	1億4,103万	1,681万
医業外費用	9億4,443万	7億5,310万	1億9,133万
特別損失	7,926万	2,805万	5,121万
予備費	500万	500万	—

（2）資本的収入及び支出

（単位：円）

区　　分	2023年度予算額	2022年度予算額	増　減　額
資本的収入	35億4,972万	18億1,188万	17億3,784万
企業債	29億3,800万	12億1,000万	17億2,800万
負担金	6億1,172万	6億　188万	984万
資本的支出	52億5,111万	23億5,731万	28億9,380万
建設改良費	34億5,924万	15億3,258万	19億2,666万
企業債償還金	7億9,187万	8億2,473万	△3,286万
投資	10億	—	10億

●業務の予定量

1　病床数　506床（うち感染症病床　6床）

2　患者数

(1)　入院　15万3,720人（1日平均　420人）

(2)　外来　22万3,728人

ア　市民病院　22万3,560人（1日平均　920人）

イ　加茂地区診療所　168人（1日平均　7人）

3　主要な建設改良事業

病院増改築事業　24億9,874万円

有形固定資産購入　9億6,050万円

手術支援ロボット　ほか

●当初予算額

今年度は、収入では入院・外来収益の増加を見込むものの、支出では医療スタッフの充実に伴う給与費の増加や光熱費、薬品費および診療材料費の増加などを見込んでおり、収入を上回る支出の増加要因があることから、3年ぶりに収支不足の予算を計上しています。

第49回 歯科口腔外科

科長 高倉 裕明

歯っと思ったこと

「子どもの外傷の特徴を知っていますか？」

新型コロナウイルスが感染症分類として5類へ移行となりましたので、旅行を計画されている方も多いのではないかと思います。外に出る機会が増えているためか、コロナ禍真っ只中の時期と比べ、小児の外傷の頻度が多くなってきている印象です。そこで今回は小児の外傷の特徴などについてお話したいと思います。

小児期の顎顔面外傷の発生頻度は顎顔面外傷患者全体の20－30％であり、約半数は歯の外傷です。その次に多いのが軟組織損傷（約20％）、顎骨骨折（15－20％）および歯槽骨骨折（10－15％）となっています。年齢別では4歳未満が一番多く、受傷原因も転倒が最も多いといわれています。小児の心身は常に成長と発達をしており、そのため情動の発達とともに、さまざまなものに好奇心をもち、運動機能の発達と相まって、好奇心の赴くままに危険な行動をとることもしばしばあります。定時発達の小児の場合、生後14－15か月頃に一人歩きができるようになりますが、運動機能としてはまだまだ未熟な状態です。このころの小児は脳頭蓋の発育が骨格や筋の発育より先行しているため、二足歩行をする場合、身体の重心が成人と比べて高くなります。その結果として、転倒してしまうため上顎乳前歯の外傷が多くなり、1－3歳が好発年齢となってしまうのです。また、2－3歳になると自分で歯磨きをしたがるようになります。これも情動の発達の観点からは自然なことなので、微細運動の発達や歯の萌出状況に合わせた歯ブラシで本人磨きをさせてよいと思います。しかし、注意が必要なのは、立って歯磨きをさせたり、歯ブラシをくわえたままで歩いたり走ったりさせないことです。先に述べた通り、運動機能は未熟であるため、いつ転倒して歯ブラシが軟組織を貫通したり、歯を損傷したりしても不思議ではありません。歯ブラシのみならず、箸やスプーンなどでも同じことが言えますので注意してください。幼弱永久歯の外傷も好発部位は上顎前歯で、好発年齢は上顎中切歯が萌出を開始する7－8歳です。このころは小学校に入学し、保護者や先生の監視を受けずに校庭で遊んだり、通学をしたりし始めるため、生活環境の中に外傷の危険性が増す時期であるためです。

実際に受診される状態として、歯の外傷には①歯の破折②歯の脱臼③歯根の破折　等があります。直ちに処置が必要なものもあれば経過観察となる場合もありますが、乳歯の場合は後続永久歯へ影響を及ぼす可能性があります。幼弱永久歯の場合も神経が死んでしまったり歯が脱落してしまう事もあります。軟組織の損傷は、転倒した際に唇や舌を噛むといったものがよくみられます。まずはガーゼ圧迫を5分程度継続して止血できれば縫合処置が必要ないこともあります。顎骨骨折については、骨片の変異が小さく、また骨癒合不全などが起こりにくい観点から非観血的処置となる場合が多いですが、重症の場合は全身麻酔下での手術が必要となる場合もあります。

簡単に小児の外傷の特徴を述べました。怪我をすると気分も下がってしまいますので、怪我には気を付けて楽しく遊んでいただければ幸いです。

《参考文献》「一般臨床家、口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル'22」クインテッセンス出版 編

vol.05

「てんかん発作」B. 焦点（起始）発作

～発作と思われていない場合もありえます～

小児科 Mini Column ミニコラム

前回は「てんかん」の主症状の「てんかん発作」の総論についてお話ししました。

今回はその中の「焦点(起始)発作」についてお話しします。

ただ、発作はたくさんあります。

そして、**発作と思われていないで経過観察されている場合も多くあります。**

ただ、すべてを理解する必要はなく、**ご自身やご家族が、どの「てんかん発作」を持っているのか理解すればよい**、と思います。

福山市民病院
小児科 科長 三谷（みたに） 納（おさむ）

「焦点発作」

図1 「焦点(起始)発作」のイメージ図
てんかんfor school https://www.tenkanfs.jp/ より引用

前回の「てんかん発作」の総論でもお話しましたが、**「焦点発作」は大脳の一部が興奮して発作が始まるもの**でしたね。

「焦点発作」は色々な分け方がありますが、大きく分けて**発作中に意識がある「焦点起始意識保持発作（旧分類：単純部分発作）」、発作中に意識がない「焦点起始意識減損発作（旧分類：複雑部分発作）」、大脳の一部の電気的興奮が大脳全体に広がり、意識消失・全身のけいれんをきたす「焦点起始両側強直間代発作（旧分類：二次性全般化）」にわけられます。**

ここでは代表的な発作を紹介させていただきます。

1 「焦点起始意識保持発作」

脳の一部が興奮していますが、**意識が保たれるために患者さん本人が発作症状を覚えている**のが特徴です。

症状は脳のどの部分が興奮しているかによって変わります。

A. 焦点起始運動発作

図2　焦点起始運動発作

顔や手足の一部が「ピクン・ピクン」と動いたり、突っ張ったりする発作です。

運動を司る部位に電気的な興奮があった場合に起こります。

B. 焦点起始感覚発作

図3　焦点起始感覚発作

感覚・五感を司る部位に電気的な興奮があった場合に起こります。

視覚を司る部位の興奮→視野が狭くなる、光の玉が見える、歪んで物が見える

聴覚を司る部位の興奮→音や音楽が聞こえる（幻聴）

嗅覚を司る部位の興奮→不快な臭い（幻嗅）

などさまざまです。

C. 焦点起始自律神経発作

図4　焦点起始自律神経発作

自律神経を調節する部位に電気的興奮があった場合に出現します。

主な症状としては、急な発汗、腹部の不快感からの嘔気・嘔吐、動悸、皮膚の紅潮・蒼白などさまざまな症状が出現します。

D. 焦点起始情動発作、認知発作

図5 焦点起始情動発作、認知発作

少し前まで精神発作と呼ばれていた発作です。

急に不安感や恐怖感が出現したり、悲しくなったりすることもあります。

以前経験した記憶や風景がよみがえってきたり（デジャヴ）、人の言葉が理解できない、言葉が出てこずしゃべられなくなる症状があります。

2 「焦点起始意識減損発作」

図6　焦点起始意識減損発作

一部の電気的過剰興奮がやや範囲拡大した際には、発作中に意識がはっきりしなくなります。上記の意識保持発作から意識障がいに発展する場合もあります(例:腹部の不快感→次第に意識減損など)。意識を失った際には手もモゾモゾさせたり、口をモグモグ動かしたり、舌なめずりをしたり、歩きだしたり、その場にそぐわない行動を伴う事が多々認められます。
これを自動症といいます。成人の「焦点起始意識減損発作」では多くは自動症を伴います。

3 「焦点起始両側強直間代発作」

脳の一部からの電気的異常興奮が脳の全体に広がった際には、多くは全身の発作である強直間代発作、いわゆる「全身けいれん」へ移行します。強直間代発作は「全般発作」でも認めるので次号で紹介しますね。

いかがでしたでしょうか？
焦点発作だけでもお腹いっぱいと思います。
ただ、発作と思われていない事も多々ありえます。
このコラムを読んでご自身で気になる症状等あれば、担当医にご相談ください。
次回は全般発作について解説しますね。

追記

　このコラムが出る頃には、新型コロナウイルス感染症も第5類感染症となり、長かったコロナ禍も終わり、普段の生活が戻ってきている事と思います。
　この3年間はほとんど外出や遠出等できずにいましたので、趣味を増やそうとパソコンの前で過ごす時間が増えていました。約1年前のある日、動画を見ているととある人が履いていたスニーカーに目がいきました。
　そのスニーカーはまさしく私が学生時代に欲しくて欲しくて、早朝から並んだけど買えなかったものでした。それからというもののスニーカー愛にまた火がついてしまいました。
　それから集めたのが、この写真。足が何本あっても足りず、書斎の飾りとなっています💦

気になる 認知症ケアチームの話

本館4階病棟 認知症看護認定看護師 竹本 圭輔

第20回 認知症看護認定看護師ってどんな人？

当院では2019年10月より、せん妄・認知症ケアチームの活動を開始いたしました。せん妄・認知症ケアチームは「認知症による行動・心理症状（BPSD）や意思疎通の困難さが見られ、身体疾患の治療への影響が見込まれる患者に対し、多職種が対応することで、認知症の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられるようサポートすること」を目的として活動しています。せん妄・認知症ケアチームのメンバーは、精神科医、脳神経内科医、認知症看護認定看護師、精神保健福祉士、公認心理師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士といった複数の職種から構成され、担当医・病棟看護師と共に、認知症やせん妄患者さんの入院による混乱を予防・緩和するための支援を行っております。今回は認知症看護認定看護師についてご紹介します。

認知症看護認定看護師は日本看護協会が認定する資格の一つで、期待される役割としては下記（表1）があります。

私は本館4階病棟で病棟業務に従事する傍ら、週2～3日は認定看護師として、せん妄・認知症ケアチームと精神科リエゾンチームの病棟ラウンドを行っています。患者さん・ご家族の様子や反応、全身状態を把握しながら各職種と認知症ケア、せん妄の予防と対策についてカンファレンスを行い、ケアに活かせるよう多職種と支援をしています。認知症やせん妄でお困りのことなどありましたらいつでもご相談ください。

（表1）認知症看護認定看護師に期待される役割

1）認知症者の意思を尊重し、権利を擁護する。
2）認知症者の状態像を統合的にアセスメントし、各期に応じたケアの実践、ケア体制づくり、家族のサポートを行う。
3）認知症の行動心理症状を悪化させる要因・誘因に働きかけ、予防・緩和を行う。
4）認知症者にとって安心かつ安全な療養環境を調整する。
5）認知症に係る保健・医療・福祉制度と、地域にある社会資源を活用しながらケアマネジメントを行う。
6）多疾患合併による影響をアセスメントし、治療的援助を含む健康管理を行う。
7）認知症看護の実践を通じて役割モデルを示し、看護職に対して指導・相談対応を行う。
8）多職種と協働し、認知症に係る知識の普及とケアサービス推進の役割を担う。

2023年度看護部は、新たに新人看護職員41人を迎えました。

看護部研修だより

第1回

2023年度 看護部研修スタート

● 看護部理念 ●

日々の看護を見直し、自己を磨き、ぬくもりの届く看護をしよう

● 教育理念 ●

病院理念および看護部理念に基づき、一人ひとりの臨床実践能力を高め、患者ケアの質の向上が図れる看護師を育成する

● 教育目的 ●

1. 質の高い根拠にもとづいた看護を提供できる看護師を育成する
2. 患者中心のチーム医療を提供できる優れた看護師を育成する
3. 専門職業人としての自己教育力を高め、自己啓発ができる看護師を育成する
4. 看護師として必要な倫理的感性と、倫理的判断力を養う

看護部教育委員会は、全ての看護職員に対して充実した教育研修を行うため「新人教育委員会」と「継続教育委員会」で運営しています。

新人教育委員会は各部署の教育担当者（主査）が、新人看護職員の育成、研修の企画・運営を行っています。

継続教育委員会は各部署の教育委員から成り、クリニカルラダーに沿ったレベル別研修や特定認定看護師・認定看護師が企画する「専門領域研修」を担当しています。（表1）

看護師長会が企画する「看護倫理研修」、副看護師長会が企画する「リーダーシップ研修」では、ラダーレベルにあわせeラーニングの動画講義をとりいれながら研修を行っています。

〈表1〉専門領域研修（レベルⅡ-2以上）

研修名	開催日	ねらい	研修内容	講師
緩和ケア ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	6/28 7/5	人々へ質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供できるように知識・技術を習得する	ELNEC-Jコアカリキュラム	緩和ケア認定看護師
透析患者の看護	10/17 11/21	透析療法を理解し、適切な観察・ケアができる 腎臓病患者の特性を理解し質の高い看護を提供できる	第1回　腎臓病の経過、観察ポイント 第2回　腎代替療法の特徴(透析・移植)薬、食事について バスキュラーアクセスの管理	透析看護認定看護師
がん放射線療法看護	12/19 1/23 2/9	がん放射線療法とその看護についての知識を深め、看護力の向上を図る	第1回　講義 放射線治療とは・有害事象について 第2回　講義 緩和照射と骨転移の疼痛ケア 第3回　見学・体験 放射線治療を受ける患者の実際を知る ～環境・体位を体験～	がん放射線療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師
ドレーン管理	3/5	腹腔内又は創部に挿入・留置されているドレーンの臨床に活かせる基礎知識・管理について知り、質の高い看護を提供できる	ドレーン管理に必要な知識、各種ドレーン・カテーテルの種類と特徴、患者ケア、ドレーンの性状、固定方法、観察とアセスメント	皮膚・排泄ケア特定認定看護師
がん化学療法看護	11/2 12/5 1/30 2/6	がん化学療法の知識の向上	第1回　投与管理 第2回　がん化学療法の基礎的知識 第3回　アピアランスケア・乳がん患者の特徴と看護 第4回　免疫チェックポイント阻害剤について	がん化学療法看護認定看護師 乳がん看護認定看護師
RRT研修	7/19 8/16 12/20	病棟よりRRTコールができるコアとなる人材の育成を行う	講義　演習　グループワーク	RRTメンバー
せん妄・認知症看護	2/26 3/8	せん妄・認知症の病態及びケアについて知識を深め看護ケアの向上を図る	第1回　せん妄の理解と対策 第2回　認知症ケア	認知症看護認定看護師

新採用看護職員集合研修の様子

4月に入職した新人看護職員は、約2週間にわたり集合研修を受講します。生体管理技術、採血、注射、血糖測定・インスリン注射、急変時の対応、感染管理、電子カルテ操作や看護記録などの研修です。また、新採用者のコミュニケーションを図る「仲間作り」の研修も企画しています。

<インジェクション研修>

安全に確実に実施するための知識・技術を習得します。

看護手順に沿って一つひとつ丁寧に説明し、7Rの確認、ダブルチェックは確実に行えるよう指導します。手技の習得はシミュレーターを使用します。

<血糖測定・インスリン注射>

正しい血糖測定とインスリン療法について知識・技術を習得します。

看護師役・患者役になり演習を行います。ロールプレイでは患者さんに寄り添った指導方法を考えます。

<生体機能管理技術>

正しくバイタルサイン測定を行う看護技術の習得、測定の目的や得られたデータをアセスメントし看護に活かす過程を学びます。

<BLS研修>

急変時の早期発見、質の高い胸骨圧迫、AEDの使用方法について学びます。

<感染管理>

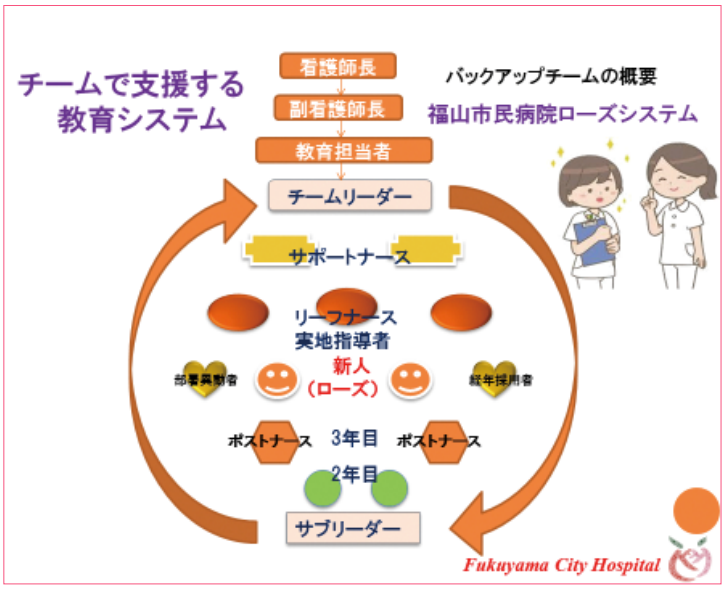
標準予防策の目的を理解し、手指衛生や個人防御具の着脱、吐物処理の方法を学びます。

これらの研修は認定看護師や各委員会メンバーが講師となります。

これから新人看護職員は、配属部署で実地指導者からOJTで学び教育担当者などのサポートを受けながら実践力を高めていきます。OJT、Off-JTの連動を図り、年間を通して研修プログラムの実施により専門職業人として必要な知識・技術・態度を習得できるように、支援を行っていきたいと考えています。

福山市民病院のローズシステム（チーム支援型教育システム）で新人看護職員の個々の成長に応じた育成、サポートをしてまいります。（図1）

〈図1〉チームで支援する教育システム「ローズシステム」



より良い周術期看護にむけて

病棟から周術期看護を実施すれば術後が変わる

手術看護認定看護師
本館6階病棟
中村 悦子

周術期は手術が決定した時点から始まり、術前から術後にわたる期間を指します。安全な手術に向けて、周術期に関わる多職種の医療者がシームレスに連携しあう取り組みが全国で活発に行われています。手術や麻酔は患者さんの身体にとって非常に侵襲的な医療行為です。私はこの春から手術室を異動し、病棟で勤務していますが、周術期看護の必要性をより強く感じ、日々スタッフと話し合いながら、患者さまの安全な手術や早期回復に向けて働いています。

周術期看護を実施するのは手術室看護師だけではなく、外来や病棟、集中治療室、すなわち術前から術後に関わる全ての看護師が実施するものです。看護の目標はその職場で違う事もありますが、目的は同じ、すなわち「手術患者に対する安全な手術の実施と早期回復」です。そしてその目的を共有しているのは看護師だけではなく、主治医、麻酔科医師、薬剤師、栄養士、リハビリ部門、臨床工学技士、口腔外科部門、放射線技師も含まれます。

周術期における患者さまについて疑問や困ったことがあれば、それぞれのプロに意見を求め、安全な手術を作っていきましょう。

今回は術前

術前から病棟でできる周術期看護をいくつかあげてみました

- **術前の内服薬を確認し、中止薬や内服継続薬を確認する（守られないと手術に影響が出る可能性があります）**
- **術前アレルギーのチェック（抗菌薬、造影剤、消毒薬、卵、大豆、フルーツについては手術時に対応を考える必要があるため、分かった時点で電子カルテアレルギー禁忌に記載します）**
- **術前の手術部位の清浄化、シャワー浴や清拭をする。術当日は歯磨きなど口腔ケアも実施（感染対策）**
- **せん妄ハイリスクではないか面談で聴取し、カルテに記載する（術後リスクに応じた対策がとりやすい）**
- **麻酔や手術について対応すべき不安がないか観察、記録し、あれば繋ぐべきところ（それぞれのプロ）へ繋ぐ（解決できる問題もあります）**

術後の早期回復を阻む三つの要因は「痛み・吐き気・感染症」です。これらを取り除くことを念頭に置き看護しましょう。（術後の話はまた別の機会に話せればと思います）

手術・周術期における疑問や相談困りごとなどあれば、ご相談ください！

「手術医学会」Report

手術室スタッフと「手術室看護師の術前看護の特徴」について演題発表を行いました。研究をまとめることで新たな手術看護に関する発見があり、研究の醍醐味を感じることができました。また、医師や臨床工学技師の発表、講演を聴講する事で新たな知見や当院の現在地を知ることが出来、有意義な時間となりました。

テクノロジーは医療にも続々入ってきており、時代についていく必要性と、診療科の垣根を超え、ロボット手術が定期手術の多くを占める日も近そうだと、私自身は感じた学会でした。それを見据えて周術期看護が対応すべき事を課題として考えていきたいです。

NEWS1

研修医修了式を行いました

4月27日から29日に韓国ソウルで開催された第52回韓国腹腔鏡・ロボット手術学会において，当院外科　門田一晃科長が最優秀演題賞を受賞しました。

NEWS2

辞令交付式を行いました

3月24日に研修医修了式を行いました。室院長から修了証が、高倉病院事業管理者から志す分野の医学冊子が手渡されました。

NEWS3

病棟のテレビ等が定額料金制になりました

2023年4月1日から、床頭台（テレビ、冷蔵庫、ランドリー）を定額料金（330円/1日）でご利用いただけます。

本サービス開始に伴い、従来のテレビカードは2023年3月末日をもって廃止となりました。テレビカードの残数がある場合は、本館1階ロビーに設置している精算機で精算できます。（6月末まで）

○ご利用料金
1日あたり330円（税込）

○申込方法
本館1階の入院セット受付⑧窓口

第2回

小児治験の取り組み

医師との連携と被験者へのサポート

治験管理室　上原　宏美

治験担当医師とは、日々コミュニケーションをとり、被験者1人ひとりの状況や不安について共有し、納得して治験を進めていただけるように心がけています。また、進めていくうえで医師の負担が増えすぎないように、被験者のサポートは極力当院の臨床研究コーディネーター（CRC）側で担い、医師の判断が必要な部分はしっかり判断していただきます。医師には外来の診察が終了した午後5時頃から1時間程度、被験者の症例報告書を確認していただいています。

被験者へのサポートは、被験者のスケジュール管理や、治験中に規定外で体調不良になった場合の電話対応、規定外来院対応などです。被験者のスケジュール管理について言えば、例えばRSウイルスのケースであれば、退院後の通院スケジュールの管理は全てこちらで行っています。担当医師が対応可能だと思われる曜日や時間と、ご家族のスケジュールをすり合わせて双方が納得して気持ちよく診察を進められるようにしたり、ご家族が不安になったり治験薬の副作用を心配した場合のファーストコンタクトをしています。そして解決できることであれば私から回答し、ご家族が医師の回答を求めているようであれば私から医師に伝えて、その回答をご家族に連絡しています。

また、携帯番号をご家族に伝えて、休日でも24時間連絡がとれるようにしています。RSウイルスのような治験であれば、朝の5時に電話がかかってきたこともあります。ただ、慢性疾患の治験であればそんな時間帯に連絡がくることはほぼありませんので、夜中や朝方に電話がかかってくることは年に数回です。

休日に対応が必要になり、出勤することもあります。被験者さんの調子が悪くなり受診したいということになれば、先に病院に来て担当医師に知らせ、それから患者さんを迎えるようにしています。2021年以降、365日小児科医師は病院に常駐することになりましたので、例え担当の医師ではない場合でも小児科医師が必ず診てくださいます。

被験者とそのご家族への対応をしっかり行うことで、被験者との信頼関係が強固なものになり、そして被験者側の不安をきちんと取り除くことで、治験担当医師が安心して治験を実施できる環境になると思います。

また、退院の時に心電図や採血など、しなければいけない検査のオーダーは全てこちらで準備し、治験に参加することにより医師の負担が増えることが極力ないように努めています。

治験終了時にはその後の治療にどうつなげていくかが大切です。治験が終わったからといってすぐに終わりではなく、今後の治療はどんなものが選択できるか、被験者に選択肢を分かりやすく説明し、その治療が軌道にのるまで見守るようにしています。そういったサポート体制を整えていることもあって、小児科の治験依頼が増えているように感じます。

次号では、治験に参加してくれた子どもたちに向けて作成した冊子『未来のきみへ』について紹介します。

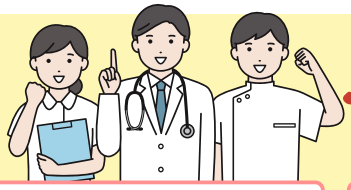
病院利用者の
皆さまからのご意見箱

ご意見ありがとうございました

内容		回答	
対応	本日受診しました。先生もお忙しいのは分かるのですが、患者をバカにしているような聞き方はすごく不愉快でした。父の付添いで来たのですが、父がいつもこのような言われ方をしているのかと思い不安になりました。他の職員の方は、とても丁寧に対応してくださるのに残念でした。	回答者 診療部	不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。診療部として、まずは個人的に指導したいと思います。病院全体としても医師に対して講習会などで接遇改善およびコミュニケーションスキルの向上に努めて参りたいと存じます。
その他	治療・手術で入院し、退院時に受ける薬の管理について お薬手帳に貼り付ける事ができるラベルを出して欲しい。外来診察時の処方薬を院外薬局で受ける時は、お薬手帳にラベルを貼っていただけます。外来診察時の院内処方時は薬局の方にお願いすれば、お薬手帳に貼るラベルを出して頂けます。退院時の院内処方薬を受け取る際は、A4紙の説明のみで、なぜ手帳に貼る小さなラベルが出ないのでしょうか?改善をお願い申し上げます。	回答者 薬剤科	ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。 お薬手帳に貼るラベルですが、現在、希望される患者さんに対し、申し出があった場合に発行させて頂く運用としております。ご不便をおかけし申し訳ありませんが、ご理解頂きますようお願い申し上げます。
その他	ATM について 郵便局も取り扱ってほしい。	回答者 管理課	ご不便おかけして申し訳ございませんでした。ゆうちょ銀行についてはローソン内に設置している ATM で利用可能ですので、ご活用ください。
その他	がん患者さんのために、早くサロンを再開してほしいです。お願いします。	回答者 地域医療連携課	ご迷惑をおかけいたしております。感染症対策の観点から、患者さんの安全を考慮し、患者サロンを再開するのは難しいと考えています。がん相談支援センターは開いておりますので、ご相談等ありましたら是非ご利用ください。患者サロンは、オンラインでの開催を検討中です。ご理解いただきますようお願いいたします。

謝意

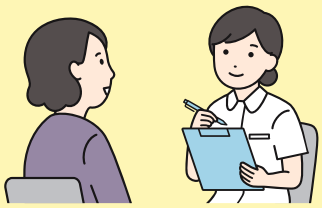
心温まるご意見ありがとうございます。
お言葉を励みに今後も頑張ります。



本日退院を迎える事になりました。先生・看護師さん他たくさんの方にお世話になり、ありがとうございました。不自由なく過ごした日常から入院生活に変わり、不安な気持ちでしたが、看護師さんに優しく接してもらうことで安心へと変わりました。手術室へ向かう途中に新人看護師さんから掛けてもらった「大丈夫ですよ！」の一言で自然と笑顔になれました。変則勤務で大変なお仕事とは思いますが、通勤も含めくれぐれもご自愛ください。

手術当日と次の日に 2 人のブルーストラップの新人看護師さんが担当してくれました。1 日目は手術前の不安な気持ちを和らげる元気な方で、2 日目は手術後の痛みのある中「〇〇さん、調子はいかがですか？」と心地良いトーンで声を掛けてくれる方でした。たまたま私にあった看護師さんだったんでしょうが、気持ちの落ち着ける 2 人でした。人にはそれぞれ個性があります。たくさんの経験を積んで立派な看護師さんになってください。

入口で対応してくださる女性が親切でした。帰りも声をかけてくださいます。嬉しいです。



最新の外来診療担当表は
こちらからご覧ください

受付時間／8:30～11:30まで

診療科			月	火	水	木	金	備考
看護外来	リンパ浮腫外来		－	－	－	－	村上 実穂／三浦 早苗	リンパ浮腫外来→乳腺甲状腺外科
看護外来	糖尿病看護外来		永井 美貴	－	永井 美貴	－	永井 美貴	糖尿病看護外来→内科外来
眼　科		午前	山本　美穂	高橋　耕介	奥田 聖瞳	高橋　耕介	辻　彰洋	※1 斜視弱視外来（予約制）
			辻　彰洋	山本　美穂	山本　美穂	奥田 聖瞳	奥田 聖瞳	
			－	奥田 聖瞳	－	－	－	
			－	－	－	辻　彰洋	－	
		午後	－	高橋　耕介	濵﨑　一郎 ※1	辻　彰洋	－	
			－	奥田 聖瞳	－	河野 玲華 ※1	－	
			－	辻　彰洋	－	高橋　耕介	－	
			－	－	－	山本　美穂	－	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		午前	山下　安彦	野田 洋平	－	山下　安彦	野田 洋平	
			平井　悠	上野 雄介	－	平井　悠	上野 雄介	
		午後	－	－	－	－	－	
外　科		午前	高倉 範尚 事業管理者	貞森　裕　副院長	日置 勝義（肝胆膵）	淺海 信也（上部消化管）	貞森　裕　副院長	
			淺海 信也（上部消化管）	黒瀬 洋平（下部消化管）	－	香川 哲也（上部消化管）	黒瀬 洋平（下部消化管）	
			石川　亘（下部消化管）	門 田　一晃（肝胆膵）	－	三浦　奈緒子（下部消化管）	－	
			－	近藤　祐平（上部消化管）	－	岩崎 寿光（肝胆膵）	－	
		午後	－	貞森　裕　副院長	－	淺海 信也（上部消化管）	－	
			－	黒瀬 洋平（下部消化管）	－	香川 哲也（上部消化管）	－	
			－	門 田　一晃（肝胆膵）	－	三浦　奈緒子（下部消化管）	－	
			－	近藤　祐平（上部消化管）	－	日置 勝義（肝胆膵）	－	
			－	担当医	ストーマ外来	門 田　一晃（肝胆膵）	－	
呼吸器外科		午前	－	山田 英司	富岡 泰章	－	室　雅彦 院長	
			－	－	－	－	山田 英司	
		午後	－	室　雅彦 院長	富岡 泰章	－	－	
			－	山田 英司	－	－	－	
乳腺甲状腺外科		午前	池田　雅彦	久保 慎一郎（紹介・初診）	池田　雅彦	久保 慎一郎（紹介・初診）	久保 慎一郎	毎週月・水・金曜日は予約のみ
			－	桑原 ちひろ（初診）	－	桑原 ちひろ（初診）	池田　雅彦	
			－	山下　哲正	－	山下　哲正	－	
		午後	－	久保 慎一郎（紹介・初診）	池田 雅彦（紹介）	久保 慎一郎（紹介・初診）	池田 雅彦（紹介）	
			－	桑原 ちひろ	－	桑原 ちひろ	－	
			－	山下　哲正	－	山下　哲正（紹介）	－	
小児外科		午前	－	－	－	－	谷　守通	
		午後	－	谷　守通	－	－	－	
泌尿器科		午前	黒瀬　恭　平	村田　匡	岡本 悠佑	村田　匡	黒瀬　恭　平	※1 第1・3・5週 岡本医師 第2・4週 三宅医師
			高本　篤	－	高本　篤	－	村田　匡	
			三宅　修 司	－	浅原 啓介	－	岡本 悠佑／三宅 修 司※1	
		午後	黒瀬　恭　平	－	岡本 悠佑	－	黒瀬　恭　平	
			高本　篤	－	高本　篤	－	村田　匡	
			三宅　修 司	－	浅原 啓介	－	岡本 悠佑／三宅 修 司※1	
産婦人科		午前（初診）	早田 桂	髙原 悦子	青江 尚志	篠﨑 真里奈	兼森　美帆	※1 第1・3・5週 青江医師 第2・4週午前 早田医師 第2・4週午後 兼森医師 ※2 妊婦健診予約のみ 産褥1ヶ月健診予約のみ 午後の外来は予約制
		午前（妊婦健診）	青江 尚志	兼森　美帆	篠﨑 真里奈	髙原 悦子	青江 尚志／早田 桂 ※1	
		午前	兼森　美帆	－	早田 桂	－	髙原 悦子	
		午後	早田 桂（NIPT等）	胎児心エコー	篠﨑 真里奈	胎児心エコー	髙原 悦子（産後等）	
			青江 尚志	胎児スクリーニング	早田 桂（NIPT等）	大平 安希子（胎児スクリーニング）	青江 尚志／兼森 美帆※1※2	
整形外科		午前	山名 圭哉（脊椎）	－	山名 圭哉（脊椎）	－	川 澤　雄大（初診）	山名医師は脊椎専門外来（予約）
			寺田 忠司（初診）	青山 美奈絵（初診）	鳥山 貴裕（初診）	川 澤　雄大（初診）	寺田　忠司	
			保利 忠宏（初診）	藤井 貴昭（初診）	岡田 幸正（初診）	市 川　天彦（初診）	鳥山 貴裕	
			市 川　天彦（初診）	－	近藤 洵也（初診）	－	藤井 貴昭（初診）	
		午後	岡田　幸　正	－	川澤　雄大	－	－	
			青山 美奈絵	－	保利　忠　宏	－	近藤 洵也	
リハビリテーション科		午前	藤井 俊 宏	藤井 俊 宏	藤井 俊 宏	藤井 俊 宏	藤井 俊 宏	紹介予約のみです。
		午後	－	－	－	－	－	
形成外科		午前	山本　康弘	－	山本　康弘	－	山本　康弘	
			大森　啓史	－	大森　啓史	－	大森　啓史	
		午後	－	－	－	－	－	
皮膚科		午前	中川　祐貴	中川　祐貴	中川　祐貴	中川　祐貴	中川　祐貴	
		午後	－	－	－	－	－	
歯科口腔外科		午前	目瀬　浩	目瀬　浩	－	目瀬　浩	目瀬　浩	初診は完全予約制です。
			山本　大介	山本　大介	－	山本　大介	山本　大介	
			高 倉　裕 明	高 倉　裕 明	－	高 倉　裕 明	高 倉　裕 明	
		午後	－	－	－	－	－	

Fukuyama City Hospital

福山市民病院外来診療担当表

診療科		月	火	水	木	金	備考
内　科	午前	藪下 和久（肝臓）	赤木 貴彦 ※1	藪下 和久（肝臓）	大西 理乃（肝臓）	中野 和久 ※1	※1 リウマチ、膠原病専門外来は毎週火・金曜日午前です。
		石原 朗雄（肝臓）	植木 亨 副院長（胆膵）	安中 哲也（肝臓）	小川 恒由（胆膵）	植木 亨 副院長（胆膵）	
		長洲 一（腎臓）	小田 尚廣（呼吸）	小田 尚廣（呼吸）	十倉 健彦（腎臓）	十倉 健彦（腎臓）	
		三谷 玲雄（呼吸）	末次 慶收（血液）	三谷 玲雄（呼吸）	杉原 尚（血液）	末次 慶收（血液）	
		小林 沙代（消化管）	髙田 一郎（呼吸）	根岸 慎（消化管）	名和 徹（消化管）	髙田 一郎（呼吸）	
		小川 恒由（胆膵）	名和 徹（消化管）	大西 章史（腎臓）	小林 沙代（消化管）	田尻 和也（消化管）	
		髙橋 寛子（糖尿）	安中 哲也（肝臓）	前田 恵実（糖尿）	－	皿谷 洋祐（胆膵）	
		寺尾 正子（化学療法）	越智 清暁	寺尾 正子（化学療法）	－	髙橋 寛子（糖尿）	
		－	大西 章史（腎臓）	－	－	辰川 匡史（肝臓）	
	午後	（予約のみ）	（予約のみ）	（予約のみ）	西 達也（呼吸器） （予約のみ）	（予約のみ）	
脳神経内科	午前	－	深井 雄太	深井 雄太（再診）	深井 雄太	－	
	午後	－	深井 雄太	－	深井 雄太	－	
小児科	午前	三谷　納	難波　貴弘	河津 由紀子	三谷　納	三谷 納 ※3／大守伊織※4	※1　第1･3･5週 ※2　第2又は4週 ※3　第1･3･4･5週 ※4　第2週 午後の専門外来は予約制です。
		安井 雅人	占部 智子	安井 雅人	安井 雅人	難波　貴弘	
		日置 里織	村岡 倫子	日置 里織	占部 智子	中村 祐太	
		村岡 倫子	飛梅　斎（内分泌）	津下 充（アレルギー）	桜井百子（アレルギー）	桜井百子（アレルギー）	
		小寺 亜矢（心臓）	鷲尾 洋介（発達）	池田 政憲（アレルギー）	河津 由紀子（心臓）	－	
	午後	難波　貴弘	小寺 亜矢（心臓）	河津 由紀子（心臓）	三谷　納（神経）	三谷 納（神経）※3／大守伊織※4	
		安井 雅人（腎臓）	占部 智子	安井 雅人（腎臓）	安井 雅人（腎臓）	村岡 倫子（血液）	
		日置 里織（心臓）	予防接種	飛梅　斎 ※1／小寺 亜矢 ※2	飛梅　斎（内分泌）	乳児検診	
		村岡 倫子（血液）	飛梅　斎（内分泌）	馬場 健児（小児循環）	桜井百子（アレルギー）	桜井百子（アレルギー）	
		小寺 亜矢（心臓）	－	池田 政憲（アレルギー）	池田 政憲（アレルギー）	日置 里織（心臓）	
腫瘍内科	午前	遠藤 久之	遠藤 久之	遠藤 久之	遠藤 久之	遠藤 久之	
		麻生 光美	麻生 光美	麻生 光美	麻生 光美	麻生 光美	
	午後	－	－	－	－	－	
放射線治療科	午前	小林　満（初診）	小林　満	小林　満（初診）	小林　満	小林　満	
		松田 恵治	松田 恵治（初診）	松田 恵治	松田 恵治（初診）	松田 恵治（初診）	
	午後	小林　満（初診）	小林　満（初診）	小林　満（初診）	小林　満	小林　満	
		松田 恵治	松田 恵治	松田 恵治	松田 恵治（初診）	松田 恵治（初診）	
精神腫瘍科	午前	平　俊浩（初・再診）	平　俊浩（初・再診）	平　俊浩（初・再診）	－	平　俊浩（初・再診）	初診は完全予約制です。
		小田 幸治（院内リエゾン）	小田 幸治（院内リエゾン）	－	小田 幸治（院内リエゾン）	小田 幸治（院内リエゾン）	
	午後	小田 幸治（院内リエゾン）	－	－	小田 幸治（院内リエゾン）	小田 幸治（院内リエゾン）	
緩和ケア科	午前	岡崎　正典	岡崎　正典	岡崎　正典	岡崎　正典	－	初診は完全予約制です。
	午後	岡崎　正典	－	岡崎　正典	－	岡崎　正典	
麻酔科・がんペインクリニック	午前	術前外来	術前外来	術前外来	術前外来	術前外来	
		小山 祐介（予約制）	小山 祐介（予約制）	－	小山 祐介（予約制）	小山 祐介（予約制）	
	午後	小山 祐介（予約制）	小山 祐介（予約制）	－	－	－	
心臓血管センター　循環器内科	午前	荒井 靖典（初診）	吉川 昌樹（初診）	森本 芳正（初診）	吉川 昌樹（再診）	津島　龍	
		加藤　雄一	内藤 洋一郎（再診）	津島　龍（再診）	森本 芳正（再診）	香川 健三（初診）	
		－	－	－	内藤 洋一郎（初診）	荒井 靖典（再診）	
	午後	荒井　靖典	吉川 昌樹	森本　芳正	吉川 昌樹	津島　龍	
		加藤　雄一	内藤 洋一郎	津島　龍	森本　芳正	香川　健三	
		ペースメーカー外来	－	－	内藤 洋一郎	荒井　靖典	
心臓血管センター　心臓血管外科	午前	末澤 孝徳	－	喜岡 幸央	－	喜岡 幸央	
		－	－	林田 智博	－	－	
	午後	末澤 孝徳	－	喜岡 幸央	－	喜岡 幸央	
		－	－	林田 智博	－	－	
放射線診断・IVR科	－	井田 健太郎　兵頭 剛　佐伯 基次　稲井 良太　福間 省吾　大原 小百合					医療機関からの予約により、画像診断を行っております。
脳神経外科	午前	大同　茂（初・再診）	金　一徹（初・再診）	大同　茂（再診）	－	平田 雄一（初・再診）	※1てんかん・パーキンソン病外来は第1.3.5週のみ診察します。 ※2脳血管内治療 専門外来は第1週の水曜日午後です。脳神経外科で行います。
		坪井 伸成（再診）	－	坪井 伸成（初・再診）	－	有澤　正（再診）	
		－	－	－	－	金　一徹（再診）	
	午後	－	有澤　正（再診）	佐々木 達也 ※1	－	－	
		－	－	杉生 憲志 ※2	－	－	
がんゲノム外来	－	久保 慎一郎　寺尾 正子					完全予約制：がんゲノム医療事務局が予約調整します。詳しくはホームページをご覧ください。
看護外来　母乳外来		担当助産師	担当助産師	担当助産師	担当助産師	－	予約は直接各外来へお願いします。 母乳外来→産婦人科 ストーマ外来→外科・泌尿器科 がん看護外来→各診療科
看護外来　ストーマ外来		－	－	木下 伊都美	－	－	
看護外来　がん看護外来		賀出 朱美	賀出 朱美	賀出 朱美	賀出 朱美	賀出 朱美	

2023年（令和5年）5月1日現在

院内保育施設

ひまわりから

いつもと違う雰囲気の中で
たべるおやつはおいしいね

リンゴジュースと
おせんべいをたべたよ♪

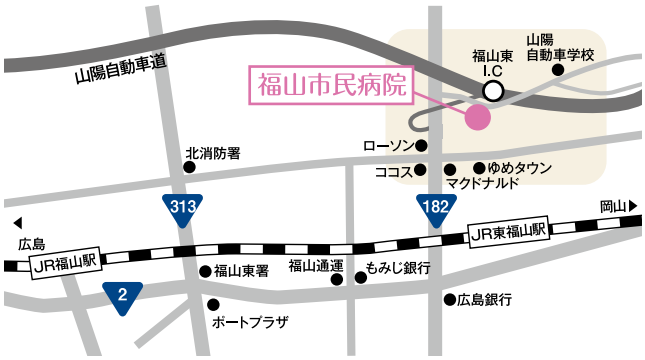
ピックニックごっこ

おやつの後は動物カードを使って
シールラリーをして遊びました。

ライオンみーつけた
シールをペタン

色々な動物カードを見ながら園庭内をお散歩

ライオン、うさぎ、キリンを見つけたらキラキラシールを貼ってメダル完成



交通のアクセス

●山陽自動車道福山東インターより車で2分
「東城・府中」方面へ進んでください
国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください
（「福山市街」方面からは右折が困難です）

●JR福山駅より
車で15分　バスで20分
福山駅前 2・8番乗場
↓
福山市民病院下車

※広報誌「ばら」に対するご意見をお寄せください。

福山市民病院　〒721-8511　広島県福山市蔵王町5丁目23-1
電話 (084)941-5151　FAX (084)941-5159
ホームページ ●https://www.fc-hosp.jp/
電子メール ●shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。